

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第336号 平成12年12月



『さえずり：ホオジロ♂』 細谷純一郎

目

次

- | | 頁 |
|--|----|
| 1) 山田正哉先生を偲んで 玉木一弘 … | 2 |
| 2) 一枚のCD 真鍋 勉 … | 3 |
| 3) 文芸随筆諸事百般
短歌 2000年幕閉じ 鹿野純一 … | 4 |
| 4) 室内染ふれあいコンサート開催
小机敏昭 … | 5 |
| 5) 三宅島生徒に対する臨時健診について
小机敏昭 … | 6 |
| 6) シドニーオリンピック(新体操)御支援に
対する謝辞 松永良治・里絵子 … | 6 |
| 7) ケアフォーラム2000開催 玉木一弘 … | 8 |
| 8) 西多摩三師会公開講座 真鍋 勉 … | 12 |

- | | 頁 |
|--------------------------------|----|
| 9) 市民健康講座開催 細谷純一郎 … | 12 |
| 10) 各部だより
学術インフォメーション 学術部 … | 13 |
| 11) 同好会短信
写真部だより 細谷純一郎 … | 15 |
| 12) 「忘年クリスマス会」開催のお知らせ
福祉部 … | 16 |
| 13) 理事会報告 広報部 … | 17 |
| 14) 会員通知・医師会の動き 事務局 … | 24 |
| 15) お知らせ・訃報 事務局 … | 26 |
| 16) 表紙のことば 細谷純一郎 … | 27 |
| 17) あとがき 細谷純一郎 … | 27 |

山田正哉先生を偲んで

玉木一弘

平成9年7月14日に西多摩医師会の重鎮、山田正哉先生が逝かれ三回忌を迎えた。私の如き若輩が先生について語ることは憚られるが、先日たまたま奥様にお会いする機会があり掻き立てられる様な気持ちを抑えきれず筆を執らせて頂いた。

私が先生と接したのは、永いご活躍の晩年10年に過ぎないが、市井の一医師として、あるいは、ひとりの人間として如何に在るべきかについて、その迷うことのない振る舞いと生き様の内に、実に多くの啓示を受けた。

先生は平成3年8月からの数年間、会報に『雑記』と題され西多摩医師会80年の歩みを連載された。編集委員であった私は、毎月几帳面に清書された原稿をいただき、ゲラ刷りの校正をさせて頂きながら、わからぬことがある度にお尋ねすると、御尊父の時代から所蔵された医師会文書を、愛おしそうに紐解かれ、行間の意味を含め、如何に多くの事が積み重ねられ、医師会や地域医療の今が在るかについて教えて下さった。これは次を担う君達の為に書いて置かねばならぬのだと謂う熱い心が身に染みた。開業医としての医業と、医師会の公的活動は一体のものとして完結するものであって、若輩が私業に流され大事を見失う事のないようにとの戒めでもあったとも思う。

体調を崩され入院された平成8年の秋、見舞いを固辞されていると伺い躊躇したが、都心に出た折りお尋ねした。癌研のいささか古びた大部屋の窓際のベットで、ぽつんと正座され読み物をされていた。出来ることなら先生を今すぐそこからつれて帰りたいような衝動にかられた。私に気づかれると、おう来たかという様な優しい眼差しで迎えて下さった。何を申し上げてよいか戸惑う私に、定款や互助会検討委員会の進行状況を質問され、穏やかにご指導下さった。その後、先ほどまで読んでおられた冊子を私に手渡された。それは先生が受けておられた、治験化学療法のプロトコールだった。ご自分の容態や治療効果、副作用の状況などを、医師が受け持ち患者の報告をするように説明して下さいました。ご自身の死期を悟られてのお言葉だった。強い意志と人生への達観に胸を打たれた。

最後にお会いしたのは亡くなる1ヶ月前であったか、見るからに痩せられて、予防接種に出務された時だった。医師会の今後を気に掛けられ、しっかりやれよとおっしゃられたお顔が目に焼き付いている。亡くなられたその日まで診療に当たられていたと伺った。先生は生涯現役を貫かれ、天職をみごとに全うされたのだと思う。私の中にも、皆さんの中にも、たくさんの患者さんの中にも先生は今も生きておられる。



総会議長を務められる山田先生

一枚のCD

真鍋 勉

九月のある日の昼休みの事であった。何かニュースはないかとテレビチャンネルを回していたところ「徹子の部屋」に怖そうな老婆が出ていた。「徹子の部屋」もとうとう出演者のネタ切れたかと思いつつ目は朝読み残した新聞に移った。しばらく活字を追っていたが、突然テレビから何とも甘美なピアノの旋律が流れ出し、目は再びテレビへ。すると先程の老婆が流麗な指使いで、パガニーニのラ・カンパネラを演奏しているではないか。何とその怖そうな老婆（などと失礼な表現をしたが）とはヴァーンスタインはじめ多くのその道の大家が「天才」と認めたフジ子・ヘミングその人だった。すでにご存知の方も多いと思うが、今年の二月、NHK教育テレビ「フジコ～あるピアニストの軌跡」で大反響を巻き起こし、最近のクラシックブームの火付け役になった人。その話しは聞いてはいたが、ピアノ演奏を耳にしたのは初めてで、さっそく彼女のCDの購入と相成った。

さて、ちょっと横道にそれるが、そのCD「奇蹟のカンパネラ」を回すオーディオ装置はというと、医学生時代よりかなりオーディオ装置には入れ込んでいたが、やっとこのところ落ち着いたのが、スピーカーがタンノイ「エジンバラ」、パワーアンプはマッキントッシュ「MC7270」コントロールアンプもマッキンで「C34V」である。オーディオ好きの方には、クラシック向きのタンノイのスピーカーとジャズ向きのマッキントッシュアンプの組合せは異様に思われるかも知れないが、結構本人は気に入っている。どこが？と問われるとお答えしたいのだがさらに横道にそれるので機会があれば別稿でということにして、さてこのタンノイのスピーカーから流れ出した彼女のピアノは例えば文学なら「行間を読む」というが、正に音と音の間にもう一つの音楽がある、とでも表現したい。この「奇蹟のカンパネラ」のCDは「一万枚売れ

ばヒット」といわれるクラシック業界で40万枚という驚異的な売上げ枚数を記録したという。今までクラシックとは無関係といった年配の女性がどんどん買って行くといった様子。クラシックブームと言ったが20～30代も敗けてはいないようで、ルーズソックス姿の女子高生が結構CDショップのこの手のコーナーに立ち並んでいる。子ギャル達はいったい何でクラシックを聞くのだろうと興味津々で手に取ったのが、「クラシカル・エヴァー！」シリーズ四作で60万枚も売れたという。ただCDの内容を見てちょっとがっかりしたのは、曲の演奏時間はほとんど5分以内、クラシックの名曲のつまみ食い、という感である。クラシックというと小中学校時代、音楽教室で眠気に堪えながら、「名曲鑑賞」を強制させられた辛かった時間を思い出される方も多いと思うが、それも何度か繰り返し聴いているとしだいに苦病が快感に変わって（マゾ的？）その長さが気にならなくなるし、主題が頭から離れなくなったりしてとうとうマニアになった、なんて人も多い様だ。クラシック音楽とはそんなものと思っていたが、いわゆるクラシックの名曲の聴きどころを5分程度に切り詰め、ジャケットにも凝ったものが多く、手に取って見入ってしまうようなCDまで出ている。外観にこだわり、中身は短く、これが最近のクラシックブームの真相であろうか、我が国の世情をそのまま表現している様だ。ところでクラシックの名曲の一部を映画のテーマやテレビコマーシャルのテーマに使用するのは今に始まったことではない。60年代の、サガンの「ブラームスはお好き」が映画化され、そのテーマにブラームスの交響曲第3番の第2楽章が使われ、あちこちのラジオから流れていたのを懐かしく思い出す（多分その頃誰かに恋をしていたのかもしれない）。ブラームスの名が出たが、何とんでもこのジャンルで

(4)

はバッハが圧倒的に多い。特にジャズへの変奏は「ジャズバッハ」として一つの世界を作っているといっても過言ではあるまい。ジョン・ルイス、ジャック・ルーシェ、マッコイ・タイナー、などすぐれたプレイヤーが多いが、なんといっても元MJQのピアニスト、ジョン・ルイス、中でもJ・Sバッハ〜

ベストオブ・プレリュードとフーガは最高だ。(バッハであってバッハでなく、ジャズであってもジャズでない)。もし、孤島へ一枚のCDと持って行くとしたら、このCDに決めている。という訳で、「ある9月の昼休みの出来事」からやっとな「一枚のCD」にたどり着いた訳であります。

文芸随筆諸事百般

二〇〇〇年幕閉じ

鹿野純 一

晴れやかにオリンピックは開かれて

日本は台風とどろく雷雨

各国の選手は制服入場で

日本マントでふざけて見える

水しぶき日本女子の銀メダル

口惜し涙は六センチの差

柔道の銀の判定残念な

日本のいっぽん認めぬ審判

水中のきれいな動きデュエットは

肩で呼吸し顔はにこやか

会館でタンゴを聞きし星野氏へ

見舞いを出せば命日なりし

今世紀師走になりてかえりみる

衣食たらずの戦争青春

立冬になり朝夕少し寒くなりました。

毎月乏しい感性の短歌を掲載して頂き

光栄でありがとうございます。

大分永くなりましたので引退したいの

でどなたか短歌、俳句、川柳、詩等投

稿される方を募集して下さい。

有名歌人の転用も胸が打たれます。適

当な手続きがいるかも知れません。

小泉先生以来数十年の伝統を絶やすの

は惜しいです。御多忙でしょうが御配

慮下さい。

村山診療所の看護婦島崎孝子さんの

「青葉町」歌集も感銘しました。

平成十二年十一月十四日

鹿野純 一

森本音編集長殿



西多摩医師会主催

「室内楽ふれあいコンサート」開催

10月26日(木)午後6時30分から、福生市民会館大ホールにおいて、「室内楽ふれあいコンサート」が開催されました。一般市民、保健・福祉・医療関係者等、約600名が秋の夜のすばらしい音楽に感銘を受けました。

演奏は、ホルンの世界第一人者ハンス・ピツカ氏、クラリネットの近藤 良氏、ピアノの白沢暁子氏のトリオで、プログラムは以下の曲目でした。

F. ドゥヴェルノイ作曲 三重奏曲 第2番 へ長調 作品81、J. S. バッハ作曲 主よ人の望みの喜びよ、F. J. シュトラウス作曲 ノクターン 変ニ長調 作品7、J. R. レヴィ作曲 シューベルトのモティーフによるディヴェルティメント 作品13、C. ライネッケ作品 三重奏曲 変ロ長調 作品274。

コンサートは、近藤 良氏の心うつ音楽文化の講話と曲目紹介で進み、ホールにやさしく響き渡るホルンの音色、クラリネット・ピアノとの美しいハーモニーに酔いしれました。約2時間のコンサート、あっという間に時が経過し、3人の小学生と4歳の女の子による花束贈呈の後、アンコール曲が演奏され閉幕となりました。

修了後、参加者の様々なうれしい反響の声、主催者のもくろみである「心の耳に感動を」は、成功したように思われました。

文責：小机敏昭



三宅島避難児童、生徒に対する臨時健康診断について

10月26日(木)午後1時から、あきる野市にある都立秋川高校に集団避難生活をしている三宅村立小学生125名、中学生107名、都立三宅高校生113名に対し、あきる野市医師会会員11名のボランティアによる臨時健康診断が行われた。これは、三宅村・東京都教育庁・東京都医師会の依頼によるもので、健診科目は内科・耳鼻咽喉科・眼科で、葉山隆・瀬戸岡俊一郎・樋口昭夫・星野誠・池谷優子・松尾多希子・奥野仁・清水佐和道・野口清美・森智之・小机敏昭の各医師が担当した。

小学生の中にホームシックになっている児童が数人いたが、多くの児童・生徒は健康で明るく元気に集団生活をしていた。健診修了後、都医師会学校医担当内藤理事をまじえ、都教育庁広松係長の司会で、三宅村小・中・高校の校長・養護教諭と健診担当医師・秋川保健所保健婦らとの間で結果についての検討会を行った。最も問題になるのは精神上のことで、両親と暮らせれば良いのであろうが、避難生活には様々な社会的問題点がみられ、どうするのがベストか、なかなか結論がだせないようだ。

2時間半を越えることになりましたが、担当していただいた先生方、どうもご苦労様でした。

文責：小机敏昭

シドニーオリンピック(新体操)御支援に対する謝辞

拝啓

爽秋の候、皆様には誠にありがとうございます。益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

この度、娘里絵子の出場したシドニーオリンピックも無事終了し、皆様には多大なるご支援、ご声援を頂き誠にありがとうございました。心より感謝いたしております。

厚く御礼申し上げます。

松永 良治

シドニーオリンピックの際は、本当に多くの方々から声援を頂きありがとうございました。私にとって最初で最後のオリンピックは一生思い出に残るものであり、又とても満足のいく大会でもありました。

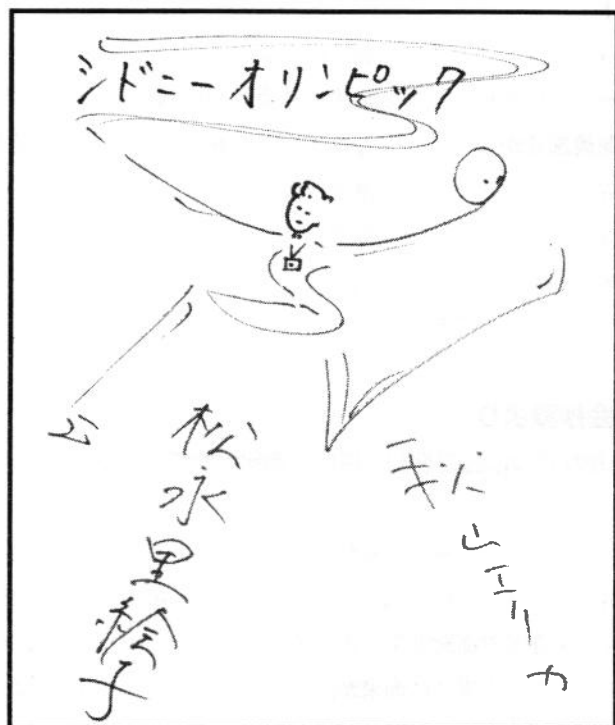
自分の持っている力を最大限に発揮し、踊りを通じて自己表現する事を目標としていたので、結果は16位でしたが結果よりも自分の目標が達成できたと言う喜びの方が大きく、嬉しく思いました。沢山の先生方、仲間、日本の皆さんに支えられあの舞台にたち演技できた事は幸せであり、そして

又今の自分がいるのだと思います。

限られた人しか経験のできない今回の事を生かし、人間として成長していきたいと思っています。

ありがとうございました。

松永里絵子



西多摩医師会地域ケアフォーラム2000開催される

西多摩の保健・福祉・医療・介護に係わる方々を対象とし、介護保険施行6ヶ月の経験から得られた問題点を検討し、相互の交流をはかることを目的とした本会主催の地域ケアフォーラムが、平成12年11月11日(土)午後2時から5時まで、羽村市コミュニティセンターで下記構成で開催され約120名の参加を得た。

第一部 学術講演会 (日本医師会生涯教育講座・エーザイ株式会社共催)

演題：「介護保険におけるかかりつけ医の役割」

～特に痴呆の診断、治療、介護を中心にして～

講師：東京都老人総合研究所

精神医学部門 研究部長 本間 昭 先生

第二部 介護保険シンポジウム その2

「介護保険施行後6ヶ月の経験と問題点」

司会 西多摩医師会副会長 玉木 一弘

【発言者】

自治体から	羽村市介護保険課	課長 羽村 富男
ケアマネージャーから	福生市社会福祉協議会	西村 律子
介護老人保健施設から	青梅すえひろ苑	施設長 岩尾 芳郎
開業医から	酒井医院	院長 酒井 淳
訪問看護ステーションから	梅園訪問看護ステーション	室長 窪川真佐美
ヘルパーステーションから	(有)アシスト	塩野 勝巳

第一部 学術講演会抄録より

一 介護保険におけるかかりつけ医の役割：特に、痴呆の診断、治療、介護を中心にして 一

まず、痴呆がどうして早い時期にみつけられにくいのかお話します。家族が最初に気づいていいはずですが、日常生活上の変化に家族が気づいて専門的な相談機関なり、医療機関を訪れた家族は1割以下です。最近、単身者や高齢世帯が増えています。そのような場合には、かかりつけの先生に気づいて欲しいのですが、現実には痴呆が高度であっても、かかりつけの先生が気づかれています。割合は半数という結果があります。



次に、なぜ早期の発見・診断が大切なのかお話しします。これは痴呆に限らず、どんな病気についても言えることでしょうが、重要である理由は4つに整理できます。1つは鑑別診断です。国外の報告ですが治療可能な原因が1割強あると言われています。2番目は抗痴呆薬による薬物療法です。最近、アルツハイマー型痴呆の治療薬も日本で発売されたので、できるだけ早い時期から使うことは重要でしょう。3番目は本人の自己決定権を尊重できます。将来、どんな世話をしてほしいのかをはっきりさせられます。4番目は介護者のQOLを高くできます。病気やその経過、あるいは種々のサービスの利用法などについて十分な知識があれば余裕をもって世話をすることができますし、介護者の余裕は本人にとっても悪い影響を及ぼすはずはないからです。

3番目に痴呆の介護者は、他の病気の介護者と比べて、何故大変なのかを説明します。コミュニケーションがとれなくなることと、世話をしているrewardがないことが最大の違いでしょう。最後に、これらのことを踏まえて、有効な地域のネットワークとはどういうものであるのか、その中でかかりつけ医の役割とは何であるのかを考えてみます。

第二部 介護保険シンポジウム

各職から次のような発言があった。

自治体から：介護サービスが従来の「措置制度」による福祉から、互いの支え合いによる「保険制度」に転換され、保険料徴収も開始されたが、保険制度への理解がまだ充分とは言えない。本保険制度が生産年齢世代と高齢世代の支え合いの制度であることについて説明責任を果たし理解を求めたい。

ケアマネージャーから：膨大な雑務や事務量に追われ、アセスメントなど本来期待されている役割を充分果たし得ない現状がある。また過大な責任にそぐわぬ低報酬では人材を得られずケアマネの質の向上は望めない。介護サービス事業者の内容が十分に公開されないと、利用者に適した選択が成されず、一事業者によるいわゆる「抱え込み」が起きやすい。

介護老人保健施設から：介護度の平均は入所 3.24、通所 2.09で予測よりやや高かったが、痴呆については実際の介護の手間より要介護度が軽く判断される傾向が伺われ、調査、意見書の改訂などシステムの改善が必要と思われる。

開業医から：かかりつけ医として質の高い意見書の作成を迅速かつ正確に行うこと、ケアカンファレンスへの参加やサービス事業者との連絡に努力し、守秘義務を遵守しつつ看護・介護職に適切な身体状態や感染症などの情報を伝えることが望ましい。

訪問看護ステーションから：訪問看護と訪問介護の的確な役割分担が必要だが難しい事例も多い。孤立せず、互いに積極的に連携することで、解決して行くことも多い。

ヘルパーステーションから：既存の福祉、医療系のサービス事業者に所属するケアマネージャーが自己の事業者内のサービスを優先させる、いわゆる『抱え込み』があり、民間の訪問介護サービス事業者の参入を難しくしている。身体状況や感染症など介護に必要な情報がヘルパーまでなかなか伝わって来ない現状がある。自治体は積極的に事業者間の連絡や問題の解決に取り組んでほしい。

会場からはケアマネージャーの方から、介護に関心が薄い医師も多くかかりつけ医を変えるように助言せざるを得ない事例があるとの発言があった。

また第一部の講師でもあり介護保険の第一人者でもある本間 昭先生からは医師会が地域に対して積極的に医療機関の機能情報を開示して行くべきだとの提言を頂いた。

★参加者のアンケートから

…………今回のフォーラムで得られたこと、感想や要望について…………

- ◎本間先生の講演の中で痴呆性老人の診断のポイントを学んだ（公務員）
- ◎介護保険にかかわる行政、各事業所の現状と問題点がわかり良かった。（看護婦）
- ◎ケア・マネの大変さが皆さんに理解され、頑張らなければと思った。（介護福祉士）
- ◎痴呆について知識が深まった。利用者からの意見が一番胸に残った。（看護婦）
- ◎アルツハイマー、介護保険に理解を深めることができた。（一般）
- ◎ケア・マネージャーの役割の大きさ、業務の多さ、問題点が山積み（看護婦）
- ◎意見書を書く上で勉強になった。（医者）
- ◎いろいろな立場の方の話が聞いて参考になった。（公務員）
- ◎医師の患者さんに対する対応に関して（医師）
- ◎介護現場のそれぞれの立場の生の声が聞いてよかった。（医師）
- ◎医師の声が聞いたことは興味深いものがあった。（一般）
- ◎関連機関との連携がますます必要だと思った。（ケースワーカー）
- ◎ヘルパーに対する感染症の情報開示について（看護婦）
- ◎ケアマネージャーの話は共感するばかり、医師会よりケアマネージャーの業務について意見を集計し、各自治体に提案してほしい。（看護婦、ケアマネ）
- ◎地域でこのような機会を作り、介護保険についてお互いに理解し合うことは大切だと思いました。（ホーム・ヘルパー）
- ◎行政は各々の意見を1つの流れになるような結びつきを考えてほしい。（ケア・マネ）
- ◎飾りのない現場の生の声が聞いた。（医師）
- ◎痴呆の早期診断の必要性が理解できた。（保健婦）
- ◎医師によって、受診の時の対応に大きな開きがある。（介護福祉士、ケア・マネ）
- ◎西多摩医師会が地域の方と一緒に、医師、福祉、介護、保健を前進させようとしている姿勢は

りっぱだと思いました。(市議会議員-青梅)

◎痴呆の方の入院、受診など問題が多いので、医師会でも対応を考えてほしい。(保健婦)

◎利用者の方々の意見を聞きたい(看護婦)

◎講演と介護保険の組み合わせは良かった(一般)

◎医療関係者のフォーラムを度々聞きたい。医師会の情報公開を早急に(一般)

◎行政の抱え込みを改善してほしい。(ケアマネージャー羽村市)

◎身近な市町村でとことんこのような機会をつくってほしい。(青梅、市議会議員)

◎老健などの現場の意見や現場ヘルパーの意見が聞きたかった。(保健、福祉)

◎お医者さんがこういう努力をされていることを初めて知りました。(一般)

◎次の回も切り口を変えてお願いします。(歯科医)

文責：玉木一弘



第8回西多摩三師会公開講座開催

第8回をむかえた西多摩三師会公開講座は11月12日(日)、14時から羽村市コミュニティセンター3階ホールで行なわれた。今回は昨年に引き続き今社会問題となっている子供たちの心と体の健康について取り上げ、「こどもたちの心とからだを育てる」というテーマで二講演を行なった。

初めに元福生三小校長で、1977年よりあきる野市で「ころりん村幼稚園」を開園している細谷勇太郎先生に「一人一人が宇宙生命体」というお話をうかがったが、90才とは思えないパワーたっぷりの講演で、多少入りの少なかった会場もその熱演に聞き入っていた。次いで二講演目は東京学芸大名誉教授の小野三嗣先生に「実践・健康づくり」というご講演をいただいたが、体力、健康づくりは一人一人に合ったトレーニング方法を取らねばならないと軽妙な話術で会場を笑いの中に誘いながらしっかりと先生の理論を展開されていた。

文責：真鍋 勉



市民健康講座開催

11月18日(土) 羽村市コミュニティセンター3階ホールにおいて西多摩医師会主催の市民健康講座が、153名の西多摩住民を集めて行われた。

午後2時宮川会長の挨拶により講演会は、幕を開けた。講師としてお迎えしたのは、TBSラジオの高視聴率・長寿番組で有名な「大沢悠里のゆうゆうワイド」でおなじみのフリーアナウンサー：大沢悠里氏。

「明るく元気にイキイキと」を題名に、1時間半の予定が、約2時間じっくりと講演していただいた。大沢氏のすべる様な弁舌と少しエッチでウィットのある講演が会場をわかせた。

ちょっと専門的な“NK細胞”の話から“今日も無事、シヨンベン出来る幸せよ”と言う話まで、会場は割れんばかりの拍手と笑いの中、“笑いは元気の元”と大沢氏が主張した通り会場に来た聴衆は、4時過ぎ元気に会場を後にした。

アッと言う間の2時間であった。

文責：細谷純一郎

各部だより



学術部

Information



《学術講演会要旨1》

平成12年9月20日(水)

演題: 「浮腫の病態と治療」

講師: 東京都国保連合会福生病院 院長 中谷矩章先生

人間の身体の中で体液は体重の約60%を占めている。体液は大きく分けて、細胞内液と細胞外液の2つになり、3分の2が細胞内液、3分の1が細胞外液となる。したがって、細胞外液は体重の約20%を占めることになる。細胞外液はさらに2つに分けられ、4分の3が組織間液、4分の1が血漿である。浮腫は、いろいろな原因によって体液量のバランスがくずれ、細胞外液(組織間液)が異常に増加した状態である。

浮腫には全身性浮腫と局所性浮腫がある。

1. 全身性浮腫

心性浮腫、腎性浮腫、肝性浮腫、低栄養性浮腫、内分泌性浮腫、薬剤性浮腫、特発性浮腫がある。

1) 心性浮腫

心不全にみられる浮腫で、心臓のポンプ障害により心拍出量が低下し、有効循環血液量が低下する。その結果、前方障害として、腎血流量の低下、糸球体濾過の低下が起これ、浮腫が発生する。さらに、腎血流量の低下は、腎の傍糸球体装置に存在する圧受容体を介して、傍糸球体細胞からレニン分泌を亢進させるので、アンジオテンシンⅡの産生が高まり、アルドステロン、抗利尿ホルモンの分泌が亢進し、Na、水の再吸収が増加して浮腫を助長する。また、後方障害として静脈圧の亢進も起これるので、これも浮腫の一因となる。

2) 腎性浮腫

ネフローゼ症候群では大量の血中タンパクの尿中漏出により低アルブミン血症となり、血漿膠質浸透圧が低下するため、毛細血管内から組織間腔へ体液が移動して浮腫をもたらす。さらに、水分の漏出により循環血液量の低下も起これるので、心不全にみられるのと同様の機序により、レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系、抗利尿ホルモン系が亢進して、浮腫を増悪させることになる。

急性腎炎にみられる浮腫は、主として糸球体濾過量の低下によるものと考えられるが、腎炎活動期における補体の活性化や白血球から放出される血管作動性アミン、加水分解酵素による毛細血管の透過性亢進も関与している可能性がある。

3) 肝性浮腫

肝硬変でみられる腹水の特徴とした浮腫であり、低アルブミン血症、門脈高血圧が原因と

なっている。低アルブミンによる浮腫はネフローゼ症候群の場合と同じ機序で起こり、門脈圧の亢進による浮腫は静脈圧の亢進により体液が組織間腔へ移動するために生ずる。

4) 薬剤性浮腫

浮腫をもたらす可能性のある薬剤としては、非ステロイド系抗炎症薬（インドメタシン、フルフェナム酸、イブプロフェン、アセチルサリチル酸、アミノピリンなど）、ホルモン製剤（副腎皮質ホルモン、エストロゲン、経口避妊薬、テストステロン、抗利尿ホルモン）、降圧薬（ヒドララジン、メチルドパ、 β 遮断薬、Ca拮抗薬）、中枢神経薬（カルバマゼピン、クロールプロマジン、バルビタール、モルヒネ、ニコチン、イミプラミンなど）、抗癌剤（ビンクリスチン）、ナトリウム含有薬（重曹、グルタミン酸ソーダ、ナトリウムイオン交換樹脂）、甘草製剤（甘草、グリチルリチン）、抗糖尿病薬（クロールプロパミド、ピオグリタゾン）、抗高脂血症薬（クロフィブラート）などがある。

2. 局所性浮腫

遺伝性血管神経性浮腫、静脈性浮腫、リンパ浮腫などがある。

浮腫の治療

一般療法（安静、塩分制限、水分制限）、原因疾患の治療、利尿薬の投与、特殊療法（ネフローゼ症候群や肝硬変などの低タンパク血症に対するアルブミン製剤の投与）などがある。

利尿薬は腎に直接作用して、水分とナトリウムを体外に排出させる薬剤である。糸球体性利尿薬と尿細管性利尿薬がある。

1. 糸球体性利尿薬

全身の循環動態を改善し、糸球体濾過量を増加させて利尿作用をもたらすものである。浸透圧性利尿剤（D-マンニトール）、キサンチン誘導体（テオフィリン）、強心配糖体（ジギタリス）、血液増量剤（デキストラン）がこれに属する。

2. 尿細管性利尿薬

尿細管における電解質の再吸収を阻害して水を排泄させるものである。

近位尿細管に作用するもの（炭酸脱水酵素阻害剤）、ヘンレーループ上行脚に作用するもの（ループ利尿剤）、遠位尿細管に作用するもの（サイアザイド系利尿剤、サイアザイド類似薬）、遠位尿細管と集合管に作用するもの（抗アルドステロン剤あるいはカリウム保持性利尿剤）がある。

《学術講演会要旨2》

平成12年11月10日（金）

演題：「アレルギー最近の話題—気管支喘息の治療—」

講師：昭和大学医学部第一内科 助教授 国分二三男 先生

喘息管理は吸入ステロイド薬を中心とする抗炎症治療により飛躍的に向上した。しかし、外来管理だけではコントロールできず重篤な発作により入院を繰り返す喘息患者が少なから

ず存在する。これまでに我々は、このような患者を対象に遠隔医療技術を用いて在宅における肺機能を正確に把握し、これに基づいて看護婦が主治医を補佐して継続的な個別の電話指導を行う「喘息テレメディスンシステム」による治療効果を検討してきた。

今回、入院リスクが高い患者を過去の緊急外来回数から選択し、多施設比較対照試験によって本システムの入院の回避に対する有効性を検証した。その結果、試験群と対照群の比較において、入院回数に有意な差が認められ、83%の入院が回避されることが確認されると共に、肺機能、症状も改善されることが示された。その理由として継続的な肺機能のモニターにより増悪が早期に検知され、吸入ステロイド薬を中心とするコントローラー薬のコンプライアンスが維持され、さらにゾーンシステムに基づいて増悪の早期に適切なレリーバー薬にて対処され得たことが考えられた。

同好会短信

第26回西多摩医師会写真部写真展

11月7日から12日まで福生市コミュニティセンターにおいて、第26回西多摩医師会写真展が開催されました。今回は、11名の会員により52作品が出展されました。最終日の12日 羽村市「かつら」において恒例の懇親批評会が、写真家 桜井保秋先生を始め10名の会員出席のもと開催されました。桜井先生による一点一点についての講評となり、写真談義に花が咲きました。

尚、次回は、平成13年6月に福生駅内のプチギャラリーで開催する予定です。

テーマは、自由ですので、奮ってご参加ください。

細谷純一郎





西医発No.
平成12年11月15日

「忘年クリスマス会」 開催のご案内

西多摩医師会
会 長 宮川 栄 次
福祉担当 葉山 隆

会員の皆様にはお変わり無くお過ごしのことと存じます。さて年末の恒例となりました『忘年クリスマス会』を下記にて開催致します。各地区及び会員各位の相互理解の増進と地域医療の発展を期し、勤務医、職員、ご家族の方々にも多数ご参加頂き、例年同様賑やかに本年を締めくくりたく存じます。皆様お誘い合わせの上、是非ご出席下さい。

日 時 : 12月11日(月) 午後7時30分～9時30分
場 所 : 昭和の森 フォレストイン昭和館
Tel 042-542-1234
会 費 : A 会 員 10,000円
B 会 員 5,000円
ご家族・職員 2,000円(お子さま無料)

楽しいイベント盛りたくさん
豪華景品の福引きもあります
お気兼ねなく軽装でおいで下さい

先生方の名札を作成いたしますので、同封の葉書
にて12月1日までにご都合をお知らせ願います



理事会報告

★ Information

10月定例理事会

平成12年10月24日

西多摩医師会館

【1】 報告事項**1. 都医地区医師会長協議会報告****I. 都医からの伝達事項****(1) 第14回医療とニューメディア・シンポジウムの開催について**

11月16日(木)午後2時 (於)お茶の水スクウェアA館ヴォーリズホール

「これからの医療連携について」 出席をお願いしたい。

(2) IT関連平成12年度補正予算関連情報について(地域医療情報化推進事業における事前アンケート調査)

①ネットワーク数、②合計サーバー数、③合計PC数、等について。

(3) 医療機能実態調査に係る協力について

地域医療提供体制の整備及び東京都保健医療計画第3次改定の基礎資料を得ることを目的とする。

(4) 介護保険における主治医及び介護支援専門員へのアンケート調査の実施について

主治医とケアマネージャーの相互の連携についてアンケート調査をするため。

(5) 介護保険について**① 主治医研修について**

医師会の6ブロックで各1回づつ研修会を実施する予定。

(多摩ブロックは武蔵野市医師会の担当となる)

② 三宅村の要介護高齢者等に対する主治医意見書の作成協力依頼について

避難されている三宅村の医師では対応できないため、意見書の作成依頼を受けた場合は協力して頂きたい。

③ 介護保険制度における「みなし指定」の確認について

介護保険サービスを提供していない医療機関の場合については「休止・廃止・再開届出書」を医療機関に記入してもらい、地区医師会において取りまとめて、本会に提出すること。

④ 介護保険制度における痴呆性高齢者等実態調査(案)の実施について

介護保険制度の円滑な運営と急激に増加する痴呆性高齢者施策の推進に活用する。

- (6) 第2回「生命を見つめる」フォトコンテスト作品募集ポスターについて
11月22日〆め切り。ポスターを医療機関に貼布して下さい。
- (7) ヘリコバクターピロリ除菌に係る薬剤の保険上の取扱いについて
当分の間これらの薬剤は保険給付の対象とはならない。
(薬事法上、効能追加が承認されたが、ピロリ菌の存在確認のための新たな検査が保険給付の対象とならないためである。)
- (8) 日本医師会市民公開講座「感染症新時代 見直される予防・治療」の開催について
11月26日(日) 日本医師会館に於て開催される。
- (9) 老健法に基づく基本健康診査及び各種がん検診の現状について
- (10) インフルエンザHAワクチンの接種及び供給について
0.5mlを皮下に、1回又はおよそ1～4週間の間隔をおいて2回注射する。ただし6才から13才未満のものには0.3ml、1才から6才未満のものには0.2ml、1才未満のものには0.1mlずつ2回注射する。65才以上は1回の接種でよいと考えられる。

II. 協議事項

なし。

III. 地区医師会からの報告

- (1) 大田区の生活習慣病(成人病)健診に関する報道について (大森医師会)
(蒲田医師会)
(田園調布医師会)

IV. その他

- (1) 日本プライマリ・ケア学会第1回関東地方会について
- (2) 東京都医師会災害弔慰金制度について
- (3) 医療連携講演会について
- (4) 平成12年度在宅医療推進のための実地研修会について

2. 各部報告

- (総務部) 10月26日(木)「ふれあいコンサート」への協力要請。
(保険部) 国民健康保険主務担当者との懇談会報告。
(学術部) 市民公開講座 11月25日(土) 青梅市立総合病院講堂。
多摩川保健所共催予定。

(病 院 部) 救急及び慢性期の病床情報ネットワークに関するアンケート調査の結果について報告。

医師会のH. P. のリニューアル空床情報の試作版がほぼ完成された。

3. 各地区会よりの報告

(各地区長)

(青 梅) なし。

(福 生) なし。

(羽 村) なし。

(あきる野) 10月26日三宅島の児童・生徒の健診を予定。

(瑞 穂) 欠席。

(日の出) 欠席。

4. その他

○ 第五回介護保険協議会の開催予定について (西多摩医師会館講堂)

10月31日(火) PM1:30より

○ 平成12年4月診療報酬改定に対する不合理点等の提出方依頼について

各地区で地区長がまとめ、11月10日(金)までに提出して下さい。

○ 福生警察署より、高齢者の交通事故防止のポスターを配布する件について

【2】 報告承認事項

1. 入会会員について — 承認 —

2. 青梅市立第五小学校学校医の代理医師の推薦について — 承認 —
江本 浩会員を推薦する (藤野淡人会員入院による)

【3】 協議事項

1. 多摩地区医師会懇親会の件 (継続) — 承認 —
菅生高校吹奏楽部、国立音楽大学弦楽四重奏を依頼。
次回理事会で、スケジュール等について報告する予定。

2. その他 — 承認 —

東京都教育庁より依頼

三宅高校の学校医 (臨時) の推薦依頼。

あきる野地区、瀬戸岡俊一郎会員を推薦。

【1】 報告事項

1. 三宅島避難児童・生徒の臨時学校健診の件

10月26日(木) 午後1時より都立秋川高校に避難している三宅島の小学生 125名、中学生 107名、高校生 113名の健診を行なった。

2. 各部報告

(総務部) 室内楽ふれあいコンサート収支報告。

(保険部) 講演会「保険診療の問題点など」講師 東京都医師会副会長 奈良橋先生
11月30日(木) PM7:30 西多摩医師会館

(介護保険) 地域ケアフォーラム2000報告

(病院部) 病院情報のネットワーク他

西多摩医師会では、昨年より東京都の補助のもと、医療機能連携推進事業に取り組んで来ました。

病院部と地域医療部の合同委員会を重ね、病院間および病診間の救急患者受け入れと慢性期患者受け入れの安定化を事業の最優先課題としたことはすでに報告したところである。

平成12年度からは事業の実行期間となり、東京都からの事業補助金が交付された。それに基づいてインターネットによる情報交換システムを医師会ニューメディア委員会の協力を得て構築する運びとなった。

一方、西多摩地区病院会(高木 直会長、会員施設29病院、1診療所)でも12年度事業として医療機能連携推進委員会による病院間インターネット構築の準備が始まり、医師会病院部と共通した事業として協力し合うこととなった。

以上については理事会で承認され、今後は具体的に以下の事業を実施する。

1. 施設間ネットワーク構築

- 1) 開設: 当面は来たる2月を目指して病院情報の提供からはじめ、次いで診療所情報の提供へ進める計画である。
- 2) 情報: (1) 医療施設向けとして空床(受け入れ可能)、当直医師専門科、緊急手術可否など。
(2) 一般向けとしての病院ホームページの開設。
- 3) 画面: フォーマットに従った情報を各病院から提供してもらい、それを元に業者に作成を委託する。
- 4) 入力: 各施設における定期入力者、端末機場所、端末機数などに問題は残るが、逐次解決課題とする。

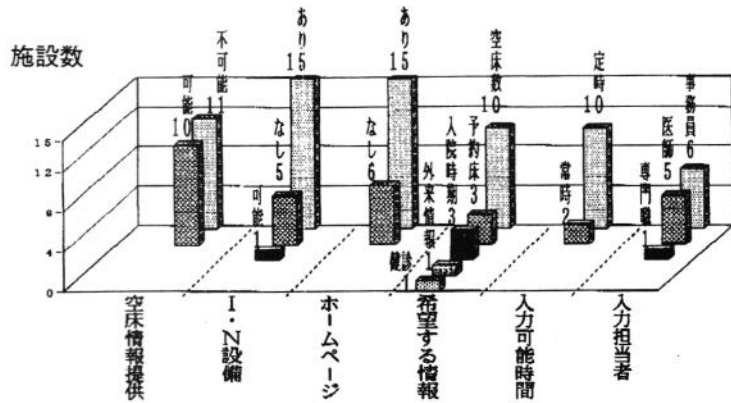
2. 医療機能連携推進のための講演会

- 1) 主催：西多摩地区病院会が企画し、医師会病院部との共催で開催する。
- 2) 演題：(1) コンピューター、インターネットの基本
元NTTデータ職員 高橋信一郎氏
(2) 田無市医師会の連携の実際
田無市医師会理事 玉置 肇先生
- 3) 会場：未確定（羽村市公民館またはスポーツセンター）
- 4) 日時：平成13年2月15日(木)、午後6時～9時。
- 5) 応募：応募は医師会員、病院会会員その他老健施設などの関連施設に向けて行なう。

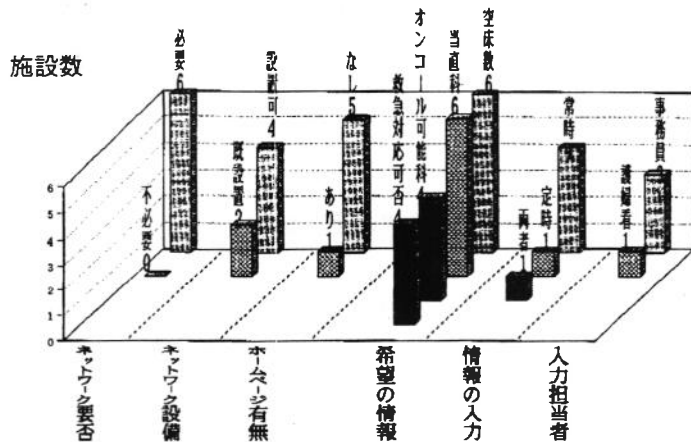
文責：坂本保己

別表 病床情報ネットワークに関するアンケート結果
(2000. 8. 30 西多摩医師会病院部調査)

対象：一般病院 21施設



対象：救急病院 6施設



- (学 術 部) 11月15日(水) 三公立病院講演会。
11月18日(土) 市民健康講座。

3. 各地区会よりの報告

(各地区長)

- (青 梅) 11月29日(水) 休日診療所の存続と移転についての懇談会を予定。
(福 生) なし。
(羽 村) 11月21日(火) 保健センターの医療関係者との懇親会を予定。
(あきる野) なし。
(瑞 穂) なし。
(日の出) なし。

4. その他

- 11月12日(日) 西多摩三師会公開講座開催
○八王子の都立小児病院と都立府中病院の統廃合について
都立小児病院を移転する計画もあり、その際にはご協力をお願いします。

【2】 報告承認事項

1. 入会会員について ——— 承認 ———
2. 平成13年度都立多摩高等学校医（内科医及び産業医）の推薦について
次回検討。
3. 新規会員年会費査定について ——— 承認 ———
林レディースクリニック
4. 会費の減額申請について ——— 承認 ———
後藤眼科診療所 後藤 伸会員
5. 多摩がん検診センター連絡協議会委員の推薦について ——— 承認 ———
宮川 栄次会長

【3】 協議事項

1. 西多摩医師会H. P. リニューアル版について ——— 承認 ———
2. 多摩地区医師会懇親会の件（継続） ——— 承認 ———
式次第、来賓席次等について

多摩地区医師会懇親会次第

受付 午後5時30分 **開宴** 午後6時
司会 西多摩医師会総務理事 小机敏昭

開会の辞	西多摩医師会副会長	玉 木 一 弘
当番医師会長挨拶	西多摩医師会会長	宮 川 栄 次
歓迎の演奏	東海大学菅生高等学校吹奏楽部演奏	
来賓祝辞	東京都医師会会長	佐々木 健 雄 様
	衆議院議員	石 川 要 三 様
	参議院議員	保 坂 三 蔵 様
	東京都議会議員	野 村 有 信 様
	東京都衛生局長	今 村 皓 一 様
	西多摩8市町村代表あきる野市長	田 中 雅 夫 様
来賓紹介		
乾 杯	東京都医師会代議員会議長	遠 藤 俊 一 様
懇 親		
余 興	国立音楽大学器楽科卒業生	弦楽四重奏

招請講話 「医療よもやま話」

	参議院議員	武 見 敬 三 様
次期当番会長挨拶	北多摩医師会会長	比留間 和 雄 様
閉会の辞	西多摩医師会副会長	真 鍋 勉

3. 第五回介護保険協議会報告

—— 承認 ——

10月31日(火) 午後1:30より、医師会館にて、8市町村の担当者との懇談会。

議題○介護保険認定審査会の認定医の報酬について——現状のまま

○介護保険施設入所の際の診断書の書式と料金の統一について

○在宅訪問する患者の感染症の有無について

4. 西多摩医師会新年賀詞交歓会日程

—— 承認 ——

平成13年1月20日(土) 青梅市福祉センター

5. 駐車場門扉整備工事について

—— 承認 ——

次年度予算計上の件

医師会館駐車場門扉、拡張工事。

6. 平成13年度自治体よりの諸手当について要望の件

—— 承認 ——

現状維持。

7. その他

忘年クリスマス会開催について
国保審査会委員の変更について
宮川会長→唐橋理事

会 員 通 知

- 地域ケアフォーラム2000
- 計報
- 産業医研修会 (江戸川区医師会)
- 東京都心身障害者医療費助成制度 (障) の請求誤りについて
- 平成12年度第2回日本医師会「認定産業医」の新規申請について
- 学術講演会 (11/15)
- 会報
- ポスター (障) 制度が9月から変わりました)
- 「平成12年度都医会主催日本医師会生涯教育講座」の開催について
- 社保「適正なレセプト提出のためのハンドブック」ポスター
- 学術講演会 (11/30)

医 師 会 の 動 き

医療機関数 196 病院 29
 医院・診療所 167
 会 員 数 419 A会員 186
 B会員 233

会議

- 11月14日 理事会
- 17日 在宅難病訪問診療
- 21日 会報委員会
- 〃 生保指導立合
- 28日 理事会
- 30日 在宅難病訪問診療

講演会・その他

- 11月8日 整備会
- 〃 法律相談
- 10日 学術講演会
- 講師：昭和大学第一内科
助教授 国分二三男先生

演題：アレルギー最近の話題
 -気管支喘息の治療-

11日 地域ケアフォーラム2000
 第一部 講演会
 演題：「介護保険におけるかかりつけ医の役割」
 ~特に痴呆の診断、治療、介護を中心にして~
 講師：東京都老人総合研究所
 精神医学部門 研究部長
 本間 昭先生

第二部 介護保険シンポジウム
 その2
 「介護保険施行後6ヶ月の経
 験と問題点」
 司会 西多摩医師会副会長
 玉木 一弘

【発言者】

自治体から
羽村市介護保険課
課長 羽村 富男
介護老人保健施設から
青梅すえひろ苑
施設長 岩尾 芳郎

開業医から

酒井医院
院長 酒井 淳

訪問看護ステーションから

梅園訪問看護ステーション
室長 窪川真佐美

ヘルパーステーションから

(有) アシスト

塩野 勝巳

ケアマネージャーから

福生市社会福祉協議会

西村 律子

15日 三公立病院講演会

1. 「白血球減少について」

公立阿伎留病院
血液内科部長・副院長
馬場眞澄先生

2. 「心疾患の外科手術」

青梅市立総合病院
胸部外科
(心臓血管・呼吸器外科)
大島永久先生

18日 市民健康講座

題名：明るく元気にイキイキと

講師：大沢悠里先生

30日 保険学術講演会

講師：東京都医師会

副会長 奈良橋喜成先生

演題：保険診療の問題点

役員出張

11月9日 多摩ブロック会長会
11日 西東京医師協同組合記念式典
12日 西多摩三師会
17日 都医会長会
25日 多摩医学会

【廃業】

医院名 大塚内科
氏名 大塚 渉 (10月18日死亡)

【退会会員】

氏名 平岡亜矢
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 小倉陽二
勤務先 青梅市立総合病院

【名称変更】

(新) (株)日立国際電気羽村工場診療所

(旧) 国際電気(株)羽村工場診療所



お知らせ**事務局より お知らせ**

平成13年1月(12月診療分)の

保険請求書類提出**1月9日(火)**

— 正午迄です —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を
毎月第二水曜日午後二時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談ください。

- 相談日 12月は13日(水)
1月は10日(水)の予定です。
- 場所 西多摩医師会館和室
- 内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- 相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

訃報**濱本武喜様** (79才)

羽村市五ノ神1-2-1

(医社) 南山会

山川医院

山川淳二 院長(ご尊父様)

去る11月15日逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。



表紙のことば

さえずり：ホオジロひ

ホオジロは、15～16cm位の小鳥で、顔に白と黒の斑が有るのが特徴です。

雄は、突出した、木や草のてっぺんに止まり、特徴のある：チョッピーチリチョ・チーツクとかチョッチョッスチョという短い声でさえずります。

この時期、川原や草むらでよく見かけます。去年の秋、早朝に水元公園で撮影しました。今にも、さえずりが聞こえてくる様な写真と自負しています。

細谷純一郎



あとがき

小生ただ今ゴルフに夢中です。ゴルフとの出会いは、入局したての頃でした。有る程度練習した頃、会員権が欲しくなり、親父に相談したところ“若造が50年早い”と一括され、その時にクラブは捨てました。

去年の今頃、瑞穂の高水先生から“眺めの良い風呂があるコース”の話聞き、健康維持と入浴を目的にその会員になりました。30年ぶりにクラブを握ると、球は止まっているのに全然当たらない、何故当たらないのか不思議でなりません。テニスやラケットボールの球でさえ当たるのに。

気の合うレッスンプロにも巡り会え、“先生いいんだけど、その手が……？”とか、“その腰がもう少し……”とか。“まだコースに出るのは早い、許可した覚えはない”とか言われながら、週一回レッスンを受け、レッスンの練習をコースで行っている今日この頃です。

しかしながら上達とはほど遠く、理論と技術と体力が同調せず悩みながらも楽しんでいきます。いずれスコアが120位に成った時、医師会のゴルフコンペにデビューしたいと考えている私です。

細谷純一郎

社団法人 西多摩医師会

平成12年12月1日発行

会長 宮川栄次 〒198-0044 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428 (23) 2171 · FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 森本 晋

石井好明 神尾重則 片平潤一 込田茂夫
清水佐和道 高水松夫 田村啓彦 細谷純一郎

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047 · FAX 0428 (22) 9993

平成13年度新年賀詞交歓会

1月20日(土) 午後6時～
青梅市福祉センター



健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……
(株) 武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659

健康の輝きをひろげる。



BML

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社・〒166 東京都杉並区豊田町4-34-5 TEL.03-3316-0111(大代表)
総合研究所・〒350 埼玉県川越市約町1361-1 TEL.0492-32-0111(代)

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のバイオニア

保健科学研究所

本 社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町146 TEL/045-333-1661(大代表)
仙 台 支 社 〒983 仙台市富城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)



信頼のヒューマンリレーション。
医薬品ネットワークが結ぶ、健康への^{ねが}い。

医薬品・試薬・医療機器の総合商社

 ● 東邦薬品株式会社

〒155 東京都世田谷区代沢5-2-1 TEL.03(419)7811(大代表)

RETAIL BANK
あさひ銀行

あなたの街の
あさひです。



あさひ銀行

東青梅支店	TEL.0428-22-2121(代)	〒198-0042 青梅市東青梅2-17-4
奥多摩 特別出張所	TEL.0428-83-2515(代)	〒198-0212 西多摩郡奥多摩町氷川1421
青梅支店	TEL.0428-22-1101(代)	〒198-0082 青梅市仲町295
河辺支店	TEL.0428-24-2401(代)	〒198-0036 青梅市河辺町10-2-9
福生支店	TEL.042-551-1021(代)	〒197-0011 福生市福生1048
村山支店	TEL.042-561-1211(代)	〒208-0001 武蔵村山市中藤4234
あきる野支店	TEL.042-558-2611(代)	〒197-0831 あきる野市秋川2-18-3
羽村支店	TEL.042-579-0881(代)	〒205-0011 羽村市五ノ神4-13-10
五日市支店	TEL.042-596-1311(代)	〒190-0164 あきる野市五日市840-1